

## 詳細技術要件

項目	必要とする特質・性能
1. 各種実験台は、以下の要件を満たすこと。	
1-1. サイド実験台A中央実験台A共通仕様については以下の要件を満たすこと。	
1-1-1 外形寸法は別紙器具図記載寸法(±3mm)とし、搬入前に現地実測の上、製作を実施すること。	
1-1-2 コンセント数・天板切り欠き・引出し数・キャビネット数等は別紙器具図記載のとおりとし、設置箇所については実験台配置参考図面のとおりとする。	
1-1-3 本体主材は、見えかき部木口にポリプロピレン製テープを貼った低圧メラミン両面化粧パーティクルボード(JIS/F☆☆☆☆)t18mm(±0.5mm)であること。又、ライトグレー、白、木目調の3種からカラー選択可能であること。	
1-1-4 幕板は、t4mm(±0.5mm)の裏面に反り止め加工を施したVOC低減合板(JAS/F☆☆☆☆)であり、ケンドン式で取り外しできる構造であること。	
1-1-5 基本フレームの主材はスチール製とし、板厚1.6mm(±0.5mm)W50mm×H20mm(±0.5mm)の口型フレームをベースとしとし、エポキシポリエステル樹脂紛体焼付け塗装仕上げであること。また、脚フレームはφ50mm(±0.5mm)の丸鋼管をボルトにて連結する構造であること。	
1-1-6 作業天板の表面材はフェノール樹脂含浸クラフトペーパーを採用し、天板仕上厚は27mm(±0.5mm)であり、比重:1.60以上、曲げ破壊荷重:295N以上、曲げ強さ:25.5N/mm <sup>2</sup> 以上、ヤング率:16.0×10 <sup>3</sup> N/mm <sup>2</sup> 以上であること。	
1-1-7 作業天板エッジはワンショット一体成型のウレタンエッジとし、芯材を完全に密閉する構造であること。	
1-1-8 作業天板重量は1㎡あたり22kg以上であること。	
1-1-9 引出は耐久性を考慮し側面の材質はスチール製とし、底板、背面板はt15mmであること。又、引出取っ手はR形状のスチール製であること。	
1-1-10 試薬棚の本体主材は、見えかき部木口に非塩ビ樹脂テープ又はABSテープを貼った低圧メラミン両面化粧パーティクルボード(JIS/F☆☆☆☆)t20mm(±0.5mm)であること。	
1-1-11 試薬棚については、基準有効高さが235mm(±5mm)の棚の2段構造であり、中段の棚板は、オレフィン系樹脂製又は真鍮製ニッケルメッキの受け付で、ダボ受にて60mmピッチで上下三段可動であること。また、下部に有効高さ400mm(±5mm)の開放スペースを有していること。	
1-1-12 試薬棚のセーフティーパイプはSUS304製φ9mm(±0.5mm)で、中段及び下段の棚板には前後2方に、最上段の棚板には4方に取設していること。また、パイプホルダーはポリプロピレン成型品とし、上段H110mm(±0.5mm)、下段H50mm(±0.5mm)で2段階に高さ変更が可能であること。	
1-2. サイド実験台B中央実験台B共通仕様については以下の要件を満たすこと。	
1-2-1 外形寸法は別紙器具図記載寸法(±3mm)とし、搬入前に現地実測の上、製作を実施すること。	
1-2-2 コンセント数・天板切り欠き・引出し数・キャビネット数等は別紙器具図記載のとおりとし、設置箇所については実験台配置参考図面のとおりとする。	
1-2-3 本体主材は、見えかき部木口に非塩ビ樹脂テープまたはABS樹脂テープを貼った低圧メラミン両面化粧パーティクルボード(JIS/F☆☆☆☆)t18mm以上であること。又、ライトグレー、白、木目調などカラー選択可能であること。	
1-2-4 引出は耐久性を考慮し側面の材質はスチール製とし、底板、背面板はt15mmであること。又、引出取っ手はR形状のスチール製であること。	
1-2-5 作業天板の表面材はフェノール樹脂含浸クラフトペーパーを採用し、天板仕上厚は27mm(±0.5mm)であり、比重:1.60以上、曲げ破壊荷重:295N以上、曲げ強さ:25.5N/mm <sup>2</sup> 以上、ヤング率:16.0×10 <sup>3</sup> N/mm <sup>2</sup> 以上であること。	
1-2-6 作業天板エッジはワンショット一体成型のウレタンエッジとし、芯材を完全に密閉する構造であること。	
1-2-7 作業天板重量は1㎡あたり22kg以上であること。	
1-2-8 試薬棚の本体主材は、見えかき部木口に非塩ビ樹脂テープ又はABSテープを貼った低圧メラミン両面化粧パーティクルボード(JIS/F☆☆☆☆)t20mm(±0.5mm)であること。	
1-2-9 試薬棚については、基準有効高さが235mm(±5mm)の棚の2段構造であり、中段の棚板は、オレフィン系樹脂製又は真鍮製ニッケルメッキの受け付で、ダボ受にて60mmピッチで上下三段可動であること。また、下部に有効高さ400mm(±5mm)の開放スペースを有していること。	
1-2-10 試薬棚のセーフティーパイプはSUS304製φ9mm(±0.5mm)で、中段及び下段の棚板には前後2方に、最上段の棚板には4方に取設していること。また、パイプホルダーはポリプロピレン成型品とし、上段H110mm(±0.5mm)、下段H50mm(±0.5mm)で2段階に高さ変更が可能であること。	
次葉に続く	

## 詳細技術要件

項目	必要とする特質・性能
<p><b>1-3. 作業台共通仕様については以下の要件を満たすこと。</b></p>	<p>1-3-1 外形寸法は別紙器具図記載寸法(±3mm)とし、搬入前に現地実測の上、製作を実施すること。</p> <p>1-3-2 コンセント数・天板切り欠き・引出し数・キャビネット数等は別紙器具図記載のとおりとし、設置箇所については実験台配置参考図面のとおりとする。</p> <p>1-3-3 本体主材は、見えかき部木口にポリプロピレン製テープを貼った低圧メラミン両面化粧パーティクルボード(JIS/F☆☆☆☆)t18mm(±0.5mm)であること又、ライトグレー、白、木目調の3種からカラー選択</p> <p>1-3-4 基本フレームの主材はスチール製とし、板厚1.6mm(±0.5mm)W50mm×H20mm(±0.5mm)の口型フレームをベースとし、エポキシポリエステル樹脂粉体焼付け塗装仕上げであること。また、脚フレームはφ50mm(±0.8mm)の丸鋼管をボルトにて連結する構造であること。</p> <p>1-3-5 引出は耐久性を考慮し側面の材質はスチール製とし、底板、背面板はt15mmであること。又、引出取っ手はR形状のスチール製であること。</p> <p>1-3-6 作業天板の表面材はフェノール樹脂含浸クラフトペーパーを採用し、天板仕上厚は27mm(±0.5mm)であり、比重:1.60以上、曲げ破壊荷重:295N以上、曲げ強さ:25.5N/mm<sup>2</sup>以上、ヤング率:16.0×10<sup>3</sup>N/mm<sup>2</sup>以上であること。</p> <p>1-3-7 作業天板エッジはワンショット一体成型のウレタンエッジとし、芯材を完全に密閉する構造であること。</p> <p>1-3-8 作業天板重量は1㎡あたり22kg以上であること。</p>
<p><b>1-4. 流し台付中央実験台仕様については以下の要件を満たすこと。</b></p>	<p>1-4-1 外形寸法は別紙器具図記載寸法(±3mm)とし、搬入前に現地実測の上、製作を実施すること。</p> <p>1-4-2 コンセント数・天板切り欠き・引出し数・キャビネット数等は別紙器具図記載のとおりとし、設置箇所については実験台配置参考図面のとおりとする。</p> <p>1-4-3 本体主材は、見えかき部木口にポリプロピレン製テープを貼った低圧メラミン両面化粧パーティクルボード(JIS/F☆☆☆☆)t18mm(±0.5mm)であること。又、ライトグレー、白、木目調の3種からカラー選択可能であること。</p> <p>1-4-4 幕板は、t4mm(±0.5mm)の裏面に反り止め加工を施したVOC低減合板(JAS/F☆☆☆☆)であり、ケトン式で取り外しできる構造であること。</p> <p>1-4-5 基本フレームの主材はスチール製とし、板厚1.6mm(±0.5mm)W50mm×H20mm(±0.5mm)の口型フレームをベースとし、エポキシポリエステル樹脂粉体焼付け塗装仕上げであること。また、脚フレームはφ50mm(±0.5mm)の丸鋼管をボルトにて連結する構造であること。</p> <p>1-4-6 作業天板の表面材はフェノール樹脂含浸クラフトペーパーを採用し、天板仕上厚は27mm(±0.5mm)であり、比重:1.60以上、曲げ破壊荷重:295N以上、曲げ強さ:25.5N/mm<sup>2</sup>以上、ヤング率:16.0×10<sup>3</sup>N/mm<sup>2</sup>以上であること。</p> <p>1-4-7 作業天板エッジはワンショット一体成型のウレタンエッジとし、芯材を完全に密閉する構造であること。</p> <p>1-4-8 作業天板重量は1㎡あたり22kg以上であること。</p> <p>1-4-9 引出は耐久性を考慮し側面の材質はスチール製とし、底板、背面板はt15mmであること。又、引出取っ手はR形状のスチール製であること。</p> <p>1-4-10 試薬棚の本体主材は、見えかき部木口に非塩ビ樹脂テープ又はABSテープを貼った低圧メラミン両面化粧パーティクルボード(JIS/F☆☆☆☆)t20mm(±0.5mm)であること。</p> <p>1-4-11 試薬棚については、基準有効高さが235mm(±5mm)の棚の2段構造であり、中段の棚板は、オレフィン系樹脂製又は真鍮製ニッケルメッキの受け付で、ダボ受にて60mmピッチで上下三段可動であること。また、下部に有効高さ400mm(±5mm)の開放スペースを有していること。</p> <p>1-4-12 試薬棚のセーフティーパイプはSUS304製φ9mm(±0.5mm)で、中段及び下段の棚板には前後2方に、最上段の棚板には4方に取設していること。また、パイプホルダーはポリプロピレン成型品とし、上段H110mm(±0.5mm)、下段H50mm(±0.5mm)で2段階に高さ変更が可能であること。</p>
<p><b>1-5. その他設置要件等については以下の要件を満たすこと。</b></p>	<p>1-5-1 ユーティリティ(給排水、電気)2次側接続工事も本仕様を含むものとする。</p> <p>1-5-2 電気:OAフロア下部より、コンセントプラグ取り合い</p> <p>1-5-3 ※但し、実験台NO,12のみOAフロア内の床か壁コンセントより延長が必要</p> <p>1-5-4 給排水:給排水すべてOAフロア下部より接続</p> <p>1-5-5 ※但し、実験台No,19は、純水装置用バルブを実験台配管スペースへの配管が必用</p> <p>1-5-6 ISO(国際標準化機構)の制定するISO9001(品質システム)及びISO14001(環境マネジメント)規格の審査登録を取得した工場生産された商品であること。</p>